

第3章

総務

1 統計調査

| 調査名 | 実施時期 | 対 象 | 内 容 |
|-----------------------|------------------------|-------------------|--|
| 国民生活基礎調査 | 6月7日 | 市内7地区 | 国民生活(保健・医療・福祉・年金・所得等)の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の基礎資料を得るために実施 |
| 21世紀成年者縦断調査 | 11月 | 厚生労働省がインターネットにて実施 | 調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化を継続的に観察し、少子化対策等厚生労働行政の基礎資料を得るために実施 |
| 中高年者縦断調査 | 11月 | 厚生労働省が郵送にて実施 | 中高年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、高齢者対策等厚生労働行政の基礎資料を得るために実施 |
| 患者調査 | H29年10月17～19日 (3年毎) | 41医療機関利用患者 | 病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得るために実施 |
| 受療行動調査 | H29年10月19日 (3年毎) | 1医療機関利用患者 | 医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査し、今後の医療行政の基礎資料を得るために実施 |
| 医師・歯科医師・薬剤師調査及び業務従事者届 | H30年12月31日 (2年毎) | 市内全域 | 医師・歯科医師・薬剤師及びその他医療関係職種の仕事場所や業務種別等の分布を明らかにし、厚生労働行政等の基礎資料を得るために実施 |
| 医療施設静態調査 | H29年10月1日 (3年毎) | 市内全病院・診療所 | 医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施 |
| 医療施設動態調査 | 毎月1回 | 市内全病院・診療所 | 病院、診療所の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施・報告 |
| 病院報告 | 毎月1回 | 37病院・1診療所 | 病院及び療養病床を有する診療所を対象に患者数等の状況を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施 |
| 人口動態調査 | 毎月1回 | 市民 | 出生、死亡、死産、婚姻、離婚の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策資料とするために報告 |
| 衛生行政報告例 | 年度報(5月) | 市保健施策 | 国、地方公共団体の衛生行政運営の基礎資料とするために報告 |
| 地域保健・健康増進事業報告 | 年度報(6月) | 市保健施策 | 地域保健施策の効率・効果的な推進のための基礎資料とするために報告 |
| 国民健康・栄養調査 | 11月 | 市内2地区 | 健康増進法に基づき、国民の食品摂取量、栄養素等摂取量の実態を把握すると同時に栄養と健康との関係を明らかにし、広く健康増進対策等に必要の基礎資料を得ることを目的として実施 |
| 環境保健サーベイランス | 通年(3歳6か月児健康診査時) | 3歳6か月児 | 子どもの健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察するために実施 |
| | 6月 | 6歳児 | |

2 保健所関係職員に対する職場研修

市の職員研修体系に基づき、保健所職員としての専門的知識と技術の習得及び地域ニーズに対応した地域保健活動が実施できる人材を育成するために保健所職場研修を実施しました。

(1) 集合研修

| | テーマ | 時間数 | 参加者数 | 講師 |
|----|--|-----|------|---------------------------------------|
| 1 | (保健所研修1) 保健所新任職員研修 | 4 | 17 | 庁内講師 |
| 2 | (保健所・センター研修1) 地域づくりパワーUP講座 | 2 | 34 | 国際医療福祉大学大学院 教授 臺 有桂氏 |
| 3 | (保健所・センター研修2) 明日からの実践に役立つ糖尿病セミナー | 2 | 17 | かなもり内科 院長 金森 晃氏 |
| 4 | (保健所・センター研修3) 記録の書き方研修 | 2 | 9 | 庁内講師 |
| 5 | (保健所研修2)高病原性鳥インフルエンザ等発生時の対応訓練 | 2 | 11 | 庁内講師 |
| 6 | (保健所研修3) 災害時のペット対策について | 1.5 | 38 | イオンペット株式会社 松井 宏太氏 |
| 7 | (保健所研修4)職場指導の進め方 | 5 | 2 | 庁内講師 |
| 8 | (保健所研修5)職場指導員の役割 | 5 | 2 | 庁内講師 |
| 9 | (保健所研修6-1)災害時の保健活動 ～いざという時のためのイメージトレーニング～ | 2 | 7 | 庁内講師 |
| 10 | (保健所研修6-2) 事例から家庭訪問の機能や意味を考える | 10 | 21 | 国際医療福祉大学大学院 教授 臺 有桂氏 |
| 11 | (保健所研修7) プレゼンテーション技術とコツ | 2.5 | 47 | 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治氏 |
| 12 | (保健所研修8) 中堅期のキャリアデザインを考える | 3 | 36 | (財)日本生産性本部認定キャリア・コンサルタント 大倉 通宏氏 |
| 13 | (保健所研修9) 部下を育て、自分も育つOJT | 2 | 33 | 杏林大学保健学部看護学科 地域看護学研究室 教授 大木 幸子氏 |
| 14 | (保健所研修10)大規模災害(地震・水害)時における住居環境・衛生対策 | 2 | 39 | 一般財団法人日本環境衛生センター 中臣 昌広氏 |
| 15 | (保健所研修11) 公衆衛生研究発表会 | 3 | 43 | 庁内講師 |

| | | | | |
|----|---|-----|----|-----------------------|
| 16 | (保健所研修 12) 地域保健関係専門派遣研修伝達研修会 | 3.5 | 61 | 庁内講師 |
| 17 | (保健所研修 13) 保健活動調整担当等危機管理ミニ講座 | 6 | 44 | 庁内講師 |
| 18 | (保健所研修 15) 実習指導者研修会 | 1 | 17 | 北里大学看護学部 講師 吉田 直子氏 |
| 19 | (保健所研修 16) 針刺し事故研修 (H I V ダイナスクリーン検査の手技研修) | 2 | 7 | 庁内講師 |
| 20 | (保健所研修 17) 平成 30 年度衛生研究所研究発表会 | 3 | 29 | 神奈川県衛生研究所 稲田 貴嗣氏 |
| 21 | (保健所研修 18) レジオネラ属菌検査研修 | 9 | 3 | 庁内講師 |

(2) 派遣研修

ア 専門派遣研修

国、県その他、結核研究所等民間専門機関が実施する研修に出席しました。

| 件数 | 延人数 | 実日数 |
|----|-----|-----|
| 99 | 272 | 248 |

3 医師臨床研修・学生実習等指導

(1) 学生実習合同オリエンテーション

保健所実習に先立ち、市の概要、保健福祉業務について実習予定の学生及び研修医を対象に合同でオリエンテーションを実施しました。

| 日 程 | 会 場 | 学校数 | 参加者数 |
|--------------------|------------|-----|------|
| 4月20日(金) 午前9時～午後4時 | ウェルネスさがみはら | 9 | 47 |

(2) 実習受け入れ状況

| 区 分 | 学校数 | 人数 | 実日数 |
|---------------|-----|----|-----|
| 総 数 | 13 | 75 | 146 |
| 医 師 | 1 | 1 | 9 |
| 保 健 師 学 生 | 3 | 12 | 59 |
| 助 産 師 学 生 | 1 | 2 | 5 |
| 看 護 学 生 | 0 | 0 | 0 |
| 管 理 栄 養 士 学 生 | 6 | 19 | 45 |
| 食 品 衛 生 学 生 | 0 | 0 | 0 |
| 医 学 生 | 2 | 41 | 28 |
| 獣 医 学 生 | 0 | 0 | 0 |

4 表彰

(1) 神奈川県保健衛生表彰知事表彰(平成 30 年 11 月 19 日(月) 神奈川県庁)

本市表彰者数：7 件

功 勞 者

| 表彰区分 | 職業 | 人数 |
|-----------|---------------|----|
| 医療関係功勞者 | 医師 | 1 |
| | 歯科医師 | 1 |
| | 薬剤師 | 1 |
| | 准看護師 | 1 |
| 環境衛生関係功勞者 | 獣医師 | 1 |
| 食品衛生関係功勞者 | 飲食店営業 | 1 |
| 施設 | ヘアークラブ・イーズィリー | 1 |

(2) 相模原市保健衛生功勞者表彰(平成 30 年 11 月 13 日(火) 市民会館)

表彰者数：47 件

功 勞 者

| 表彰区分 | 職業 | 人数 | 表彰区分 | 職業 | 人数 |
|---------|---------|----|---------------|-----------|-------|
| 医療関係功勞者 | 医師 | 3 | 環境衛生関係功勞者 | 理容師 | 2 |
| | 歯科医師 | 3 | | 食品衛生関係功勞者 | 食品販売業 |
| | 薬剤師 | 1 | 飲食店関係者 | | 3 |
| | 看護師 | 2 | 地域公衆衛生活動関係功勞者 | 管理栄養士 | 1 |
| | 歯科衛生士 | 1 | | 食生活改善推進員 | 1 |
| | 診療放射線技師 | 1 | | | |
| | 臨床検査技師 | 1 | | | |
| | 柔道整復師 | 1 | | | |

施 設

| 営業の種類 | 施設数 | 営業の種類 | 施設数 |
|-------|-----|-------|-----|
| 理容所 | 2 | 飲食店 | 2 |

非常勤特別職等功勞者

| | |
|------------|---|
| 学校医 | 6 |
| 学校医・保育所嘱託医 | 1 |
| 保健所医・健診医 | 4 |
| 学校歯科医 | 5 |
| 学校薬剤師 | 5 |
| 母子訪問相談員 | 1 |

5 訪問看護推進事業

相模原市内で訪問看護を行っている機関が連携し、保健・医療・福祉の円滑な推進を図り、市内全体の在宅看護の質を向上することを目的として相模原市訪問看護連絡会議を開催しました。また、訪問看護ステーションが組織する管理者会へ参加しました。

(1) 訪問看護等連絡会議

| 実施日 | 参加機関数 | 参加者数 | 内容 |
|-------------------|---|------|--|
| 平成 30 年 10 月 10 日 | 41 【内訳】 訪問看護実施医療機関：1 訪問看護ステーション：25 その他関係機関：15 (庁内 10 機関含む) | 52 | ・関係機関の活動報告 ・グループワーク テーマ「他職種の顔の見える連携に向けて ～小児・障害・難病事例から～」 |

市内で訪問看護に従事する看護職等を対象に研修会を実施しました。

| 実施日 | 参加機関数 | 参加者数 | 内容 |
|-----------------|-------|------|---|
| 平成 31 年 3 月 9 日 | 16 | 36 | テーマ： 「在宅療養者を支援している関係職種との連携について ～救急隊の視点から～」 ・講義と講習 (心肺蘇生法と A E D の実技) ・講師：相模原市消防局救急課 職員 |

(2) 訪問看護ステーション管理者会

月 1 回開催される訪問看護ステーション管理者会に参加し、訪問看護上の課題等を把握しました。